

# 道 徳

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	道徳 701・801・901	AB 640	令和2年
17	教育出版	教 出◆	道徳 702・802・902	B5 622	
38	光村図書	光 村◆	道徳 703・803・903	B5 607	
116	日本文教出版	日 文◆	道徳 704・705・804 805・904・905	B5 720	
224	学研教育みらい	学 研◆	道徳 706・806・906	A4 582	
232	廣済堂あかつき	廣あかつき◆	道徳 707・708・807 808・907・908	AB 678	
233	日本教科書	日 科◆	道徳 709・809・909	B5 582	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
27冊	東書、教出、光村、日文、学研、廣あかつき、日科

## 2 学習指導要領における教科の目標及び内容項目等

### 【道徳科の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

### 【内容項目等】

#### A 主として自分自身に関すること

##### 〔自主、自律、自由と責任〕

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

##### 〔節度、節制〕

望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。

##### 〔向上心、個性の伸長〕

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

##### 〔希望と勇気、克己と強い意志〕

より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

##### 〔真理の探究、創造〕

真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

#### B 主として人との関わりに関すること

##### 〔思いやり、感謝〕

思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

##### 〔礼儀〕

礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。

##### 〔友情、信頼〕

友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

##### 〔相互理解、寛容〕

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

#### C 主として集団や社会との関わりに関すること

##### 〔遵法精神、公德心〕

法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

##### 〔公正、公平、社会正義〕

正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。

##### 〔社会参画、公共の精神〕

社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。

##### 〔勤労〕

勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。

### [家族愛、家庭生活の充実]

父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。

### [よりよい学校生活、集団生活の充実]

教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。

### [郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度]

郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

### [我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度]

優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。

### [国際理解、国際貢献]

世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。

## D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

### [生命の尊さ]

生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。

### [自然愛護]

自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。

### [感動、畏敬の念]

美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。

### [よりよく生きる喜び]

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。

## 3 教科書の調査研究

### (1) 内容

#### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠（内容等）	数値データの単位
a 領域区分の量（「主として自分自身に関すること」「主として人との関わりに関すること」「主として集団や社会との関わりに関すること」「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」についての主な教材の数及び割合）	内容項目の構成	個、%
b 「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数	内容 A	個
c 「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数	内容 B	個
d 「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数	内容 C	個
e 「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数	内容 D	個
f 情報モラルや現代的な課題を扱っている主な教材の数	指導計画の作成と内容の取扱い	個
g 人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	指導計画の作成と内容の取扱い	人

## イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙 2」）

### ① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

b～e 以下の観点で教材を分類し、具体的に調査研究した。（別紙 2－1）

- ・ 読み物教材①：物語・随想などの教材の数
- ・ 読み物教材②：説明的文章の教材の数
- ・ 読み物教材③：マンガの教材の数
- ・ 読み物以外の教材：図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数

f 以下の内容を扱っている主な教材名及び内容項目を調査研究した。（別紙 2－2）

- ・ 情報モラルに関する内容を扱っている主な教材の教材名及び内容項目
- ・ 持続可能な社会づくりに関する内容を扱っている主な教材の教材名及び内容項目
- ・ いじめ防止に関する内容を扱っている主な教材の教材名及び内容項目
- ・ 安全教育に関する内容を扱っている主な教材の教材名及び内容項目

g 人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物名、職業等及び内容項目を調査研究した。（別紙 2－3）

- ・ 主な教材に取り上げられている中心人物の名前（職業等）及び内容項目

<その他>

- \* 1 国旗・国歌の扱い（別紙 2－4）
- \* 2 防災や自然災害の扱い（別紙 2－5）
- \* 3 性差と家族についての扱い（別紙 2－6）
- \* 4 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙 2－7）
- \* 5 北朝鮮による拉致問題の扱い

< 調査の結果、\* 5については記載が無いことを確認した。 >

### ② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 学習指導要領「第 2 内容」において、「主として自分自身に関すること」、「主として人との関わりに関すること」、「主として集団や社会との関わりに関すること」、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の四つの視点及び 22 の内容項目が挙げられている。内容項目ごとの教材数について調査し、特色を比べ、各社の取り上げ方の工夫について調査した（b、c、d、e）。
- ・ 学習指導要領「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」において指導上の配慮事項として、情報モラルに関する指導を充実することに加えて、社会の持続可能な発展などの現代的な課題の取扱いが挙げられている。このことから、情報モラル及び現代的な課題を扱っている主な教材数について調査し、特色を比べ、各社の取り上げ方の工夫について調査した。現代的な課題は、東京都教育施策大綱の重要事項にも示されている持続可能な社会づくり、いじめ防止及び安全教育に関する内容について調査した（f）。
- ・ 学習指導要領「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」において、多様な教材の活用に努めることが留意点として挙げられている。人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材は、生きる勇気や知恵などを学ぶことができるとともに、生きることの魅力や意味の深さについて考えを深めることができる想定される。このことから、人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物について調査した。（g）
- ・ 国旗・国歌については、学習指導要領に基づき、国旗・国歌に対する正しい認識をもたせ、それらを尊重する態度を育てることが大切であることから、その扱いについて調査した（\* 1）。
- ・ 東京都では、自然災害における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査した（\* 2）。
- ・ 性差と家族に関する表現については、東京都教育委員会教育目標の基本方針 1 に基づき、男女共同参画社会を目指すものの、男女の性差まで否定するものではないとの観点から、性差等に関する表現について、記述の内容を調査するとともに、「東京都男女平等参画基本条例」に基づき、適正な男女平等教育を推進するという観点から、男女が家庭生活における活動に対等な立場で参

画する観点や家庭観について取り上げられている内容について調査した（＊3）。

- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査した（＊4）。
- ・ 東京都教育委員会は、教育目標の基本方針1として「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」を掲げ人権教育を推進してきた観点から、生徒が人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて、調査した（＊5）。

### ③ 調査研究の方法

b、c、d、e

「主として自分自身に関すること」、「主として人との関わりに関すること」、「主として集団や社会との関わりに関すること」、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の各教材について、物語・随想などの教材の数、説明的文章の教材の数、マンガの教材の数、図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数を整理した。

f 情報モラルや現代的な課題を扱っている主な教材の教材名及び内容項目について整理した。現代的な課題については、東京都教育施策大綱の重要事項にも示されている、持続可能な社会づくり、いじめ防止及び安全教育に関する内容とし、教科書中に明文化されているものについて整理した。

g 取り上げられている人物名、職業等及び内容項目について整理した。

<その他>

- ＊1 国旗・国歌について取り上げている記述を調査した。
- ＊2 防災や自然災害について取り上げている記述の概要を調査した。
- ＊3 性差と家族について取り上げている記述の概要を調査した。
- ＊4 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている記述の概要を調査した。
- ＊5 北朝鮮による拉致問題について取り上げている記述の概要を調査した。

### (2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点により、箇条書きで記述した。

- ア 冊数の工夫
- イ 教材配列の工夫
- ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫
- エ ユニバーサルデザインの視点
- オ デジタルコンテンツの扱い
- カ その他の工夫

「別紙1」【(1)内容ア 調査研究の総括表】(中学校 特別の教科 道徳)

項目	a 領域区分の量 (主な教材の数及び割合)						b 「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数						c 「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数						d 「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数						e 「主として生命や自然、崇高なものの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数				f 情報モラルや現代的な課題を扱っている主な教材の数	g 人々の生き方や考え方や等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数			
	主として自分自身に関すること	主として人との関わりに関すること	主として集団や社会との関わりに関すること	主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	その他	計	自主、自律、自由と責任	節度、節制	向上心、個性の伸長	希望と勇気、克己と強い意志	真理の探究、創造	計	思いやり、感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	計	守法精神、公德心	公正、公平、社会正義	社会参画、公共の精神	勤労	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	国際理解、国際貢献	計	生命の尊さ	自然愛護	感動、畏敬の念	よりよく生きる喜び	計	
東書	21 18.4%	22 19.3%	43 37.7%	25 21.9%	3 2.6%	114	6	6	3	3	3	21	7	3	6	6	22	6	6	6	3	3	4	4	5	43	12	3	3	7	25	19	35
教出	21 20.0%	20 19.0%	43 41.0%	21 20.0%	0 0.0%	105	5	5	3	3	21	7	3	6	4	20	4	4	8	3	3	3	8	4	6	43	8	4	4	5	21	15	43
光村	23 21.9%	20 19.0%	35 33.3%	21 20.0%	6 5.7%	105	6	4	5	3	23	6	3	5	6	20	5	6	3	4	3	4	3	3	4	35	9	3	3	6	21	40	43
日文	18 17.1%	20 19.0%	46 43.8%	21 20.0%	0 0.0%	105	6	3	3	3	18	6	3	8	3	20	6	6	7	6	3	3	4	5	6	46	9	3	3	6	21	25	36
学研	24 22.9%	22 21.0%	37 35.2%	22 21.0%	0 0.0%	105	6	6	3	4	24	7	3	7	5	22	6	4	4	3	3	5	3	3	6	37	9	4	3	6	22	21	52
廣あかつき	24 22.9%	21 20.0%	36 34.3%	24 22.9%	0 0.0%	105	9	3	3	6	24	9	3	6	3	21	6	6	3	3	6	3	3	3	3	36	9	3	3	9	24	14	41
日科	20 18.0%	23 20.7%	47 42.3%	21 18.9%	0 0.0%	111	5	3	5	4	20	5	3	9	6	23	7	7	7	4	5	3	5	5	4	47	7	3	3	8	21	43	
合計値	151	148	287	155	9	750	43	30	25	30	151	47	21	47	33	148	40	39	38	29	26	24	30	27	34	287	63	23	22	47	155	145	293
平均値	21.6	21.1	41.0	22.1	1.3	107.1	6.1	4.3	3.6	4.3	3.3	21.6	6.7	3.0	6.7	4.7	21.1	5.7	5.6	5.4	4.1	3.7	3.4	4.3	3.9	4.9	9.0	3.3	3.1	6.7	22.1	20.7	41.9

aは領域区分の量(主な教材の数及び割合)を示している。その他は、視点や内容項目の設定がない主な教材の数及び割合を示している。  
bは「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数。  
cは「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数。  
dは「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数。  
eは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数。  
fは該当する主な教材の数を示している。  
gは、人物の生き方や考え方や等から学ぶ主な教材に、中心として取り上げられている人物の数を示している。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 東書】(中学校 特別の教科 道徳)

学年	内容項目 教材の内容	b 「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数の数					c 「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数					d 「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数					e 「主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数									
		自主、自律、自由と責任	節度、節制	向上心、個性の伸長	希望と勇気、克己と強い意志	真理の探究、創造	計	思いやり、感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	計	守法精神、公德心	公正、公平、社会正義	社会参画、公共の精神	勤労	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	国際理解、国際貢献	計	生命の尊さ	自然愛護	感動、尊敬の念	よりよく生きる喜び
第1学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	2	2	1	1	1	7	2	1	2	1	6	2	1	2	1	1	2	1	1	13	4	1	1	2	8
	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	読み物教材③ マンガの教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	1	2	1	1	1	6	2	1	2	2	7	1	1	2	1	1	1	1	1	10	3	1	1	2	7
第2学年	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	読み物教材③ マンガの教材の数の数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	2	2	1	1	1	7	2	1	2	2	7	2	1	2	1	1	1	1	2	12	4	1	1	2	8
	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
第3学年	読み物教材③ マンガの教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教出】(中学校 特別の教科 道徳)

学年	内容項目 教材の内容	b 「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数					c 「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数					d 「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数									e 「主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数					
		自主、自律、自由と責任	節度、節制	向上心、個性の伸長	希望と勇気、克己と強い意志	真理の探究、創造	計	思いやり、感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	計	守法精神、公德心	公正、公平、社会正義	社会参画、公共の精神	勤労	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	国際理解、国際貢献	計	生命の尊さ	自然愛護	感動、尊敬の念	よりよく生きる喜び
第1学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	2	2	1	2	1	8	3	1	1	1	6	0	1	1	1	1	4	1	1	11	3	1	1	2	7
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	1	2	1	2	1	7	3	1	2	1	7	2	1	2	1	1	2	1	3	14	2	1	1	1	5
第2学年	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	2	0	1	1	1	5	1	1	2	1	5	1	3	1	1	1	2	2	2	14	2	1	2	2	7
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
第3学年	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2



「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 光村】(中学校 特別の教科 道徳)

学年	内容項目 教材の内容	b 「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数の数					c 「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数					d 「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数					e 「主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数									
		自主、自律、自由と責任	節度、節制	向上心、個性の伸長	希望と勇気、克己と強い意志	真理の探究、創造	計	思いやり、感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	計	守法精神、公德心	公正、公平、社会正義	社会参画、公共の精神	勤労	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	国際理解、国際貢献	計	生命の尊さ	自然愛護	感動、尊敬の念	よりよく生きる喜び
第1学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	2	0	1	1	1	5	3	1	2	1	7	2	1	1	1	2	0	1	0	10	2	0	1	2	5
	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	
	読み物教材③ マンガの教材の数の数	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	2	1	2	2	1	8	0	1	2	2	5	2	1	1	1	1	1	1	2	10	3	1	1	2	7
第2学年	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	読み物教材③ マンガの教材の数の数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	2	1	1	2	1	7	2	0	1	1	4	2	1	2	0	1	1	1	1	11	2	1	1	2	6
	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
第3学年	読み物教材③ マンガの教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 日文】(中学校 特別の教科 道徳)

学年	内容項目 教材の内容	b 「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数					c 「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数					d 「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数									e 「主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数					
		自主、自律、自由と責任	節度、節制	向上心、個性の伸長	希望と勇気、克己と強い意志	真理の探究、創造	計	思いやり、感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	計	守法精神、公德心	公正、公平、社会正義	社会参画、公共の精神	勤労	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	国際理解、国際貢献	計	生命の尊さ	自然愛護	感動、尊敬の念	よりよく生きる喜び
第1学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	2	1	1	1	1	6	2	1	3	1	7	1	2	2	1	1	2	1	2	13	3	1	1	2	7
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
第2学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	2	1	0	1	1	5	2	1	3	1	7	2	2	2	1	1	1	1	2	14	3	1	1	2	7
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	2	1	1	1	1	6	2	1	2	1	6	2	2	2	1	1	1	2	2	15	3	1	1	2	7
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 学研】(中学校 特別の教科 道徳)

学年	内容項目 教材の内容	b 「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数の数					c 「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数					d 「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数					e 「主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数の数									
		自主、自律、自由と責任	節度、節制	向上心、個性の伸長	希望と勇気、克己と強い意志	真理の探究、創造	計	思いやり、感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	計	遵法精神、公徳心	公正、公平、社会正義	社会参画、公共の精神	勤労	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	国際理解、国際貢献	計	生命の尊さ	自然愛護	感動、尊敬の念	よりよく生きる喜び
第1学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	2	2	1	2	1	8	2	1	3	1	7	2	1	1	1	2	1	1	1	11	3	1	1	2	7
	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	2	1	1	1	2	7	2	1	2	2	7	2	1	2	1	2	1	1	1	12	2	1	0	2	5
第2学年	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	読み物教材③ マンガの教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数の数	2	1	1	1	2	7	2	1	2	2	7	2	1	1	1	1	1	1	3	12	2	1	1	2	6
	読み物教材② 説明的文章の教材の数の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3学年	読み物教材③ マンガの教材の数の数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数の数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 廣あかつき】(中学校 特別の教科 道徳)

学年	内容項目 教材の内容	b 「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数					c 「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数					d 「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数					e 「主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数									
		自主、自律、自由と責任	節度、節制	向上心、個性の伸長	希望と勇気、克己と強い意志	真理の探究、創造	計	思いやり、感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	計	守法精神、公德心	公正、公平、社会正義	社会参画、公共の精神	勤労	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	国際理解、国際貢献	計	生命の尊さ	自然愛護	感動、尊敬の念	よりよく生きる喜び
第1学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	3	1	1	2	1	8	3	1	2	1	7	2	1	1	2	1	1	1	1	12	3	1	1	3	8
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	3	1	1	2	1	8	3	1	2	1	7	2	1	1	2	1	1	1	1	12	3	1	1	3	8
第2学年	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	3	1	1	2	1	8	3	1	2	1	7	2	1	1	2	1	1	1	1	12	3	1	1	3	8
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第3学年	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 日科】(中学校 特別の教科 道徳)

学年	内容項目 教材の内容	b「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材の数					c「主として人との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数					d「主として集団や社会との関わりに関すること」を扱っている主な教材の数									e「主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材の数					
		自主、自律、自由と責任	節度、節制	向上心、個性の伸長	希望と勇気、克己と強い意志	真理の探究、創造	計	思いやり、感謝	礼儀	友情、信頼	相互理解、寛容	計	守法精神、公德心	公正、公平、社会正義	社会参画、公共の精神	勤労	家族愛、家庭生活の充実	よりよい学校生活、集団生活の充実	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	国際理解、国際貢献	計	生命の尊さ	自然愛護	感動、尊敬の念	よりよく生きる喜び
第1学年	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	1	1	2	1	1	6	2	1	3	1	7	3	3	1	1	1	2	1	1	16	2	1	1	2	6
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	2	1	1	1	1	6	1	1	3	3	8	2	1	2	2	1	1	2	2	1	14	2	1	1	3
第2学年	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読み物教材① 物語・随想などの教材の数	2	1	1	2	1	7	2	0	3	1	6	2	1	2	1	1	1	2	2	14	3	1	1	3	8
	読み物教材② 説明的文章の教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
第3学年	読み物教材③ マンガの教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読み物以外の教材 図表・グラフ・絵・ポスターなどを中心とした教材の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

「別紙2-2」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 特別の教科 道徳)

f 情報モラルや現代的な課題を扱っている主な教材の教材名及び内容項目

東書	情報モラルに関する内容を扱っている教材	持続可能な社会づくりに関する内容を扱っている教材	いじめ防止に関する内容を扱っている教材	安全教育に関する内容を扱っている教材
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>短文投稿サイトに友達の悪口を書く(友情、信頼)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山岳民族の文化を守る(国際理解、国際貢献)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめに当たるのはどれだろう(相互理解、寛容)</li> <li>傍観者でいいのか(自主、自律、自由と責任)</li> <li>ふたつの心(内容項目の指定なし)</li> <li>いじめっ子の気持ち(公正、公平、社会正義)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山に来る資格がない(節度、節制)</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴール(友情、信頼)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>私のせいじゃない(公正、公平、社会正義)</li> <li>あの子のランドセル(自主、自律、自由と責任)</li> <li>「いじめ」について、あなたは思う？(内容項目の指定なし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ」のために？(遵法精神、公德心)</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>合格通知(友情、信頼)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そこ(国際理解、国際貢献)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無美の罪(公正、公平、社会正義)</li> <li>ある日の午後から(自主、自律、自由と責任)</li> <li>いじめから目をそむけない(内容項目の指定なし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマホに夢中！(節度、節制)</li> <li>合格通知(友情、信頼)</li> </ul>

注:「情報モラルやいじめ防止など現代的な課題に関する内容」を扱っていることが、文言・マーク等によって明示されている主な教材名及び内容項目を記載した。文言・マーク等によって明示されていないからといって、その課題について学習する教材がないということではない。

教出	情報モラルに関する内容を扱っている教材	持続可能な社会づくりに関する内容を扱っている教材	いじめ防止に関する内容を扱っている教材	安全教育に関する内容を扱っている教材
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で決める(自主、自律、自由と責任)</li> <li>ルールとマナー(遵法精神、公德心)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文言・マーク等の明示なし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールとマナー(遵法精神、公德心)</li> <li>「いじめ」？「いじめ」？(相互理解、寛容)</li> <li>あなたはなんでしょうか(公正、公平、社会正義)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文言・マーク等の明示なし)</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSとどうつき合う？(節度、節制)</li> <li>本日の友達って(友情、信頼)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ食べられるのに(社会参画、公共の精神)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしのせいじゃない(公正、公平、社会正義)</li> <li>最優秀(公正、公平、社会正義)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSとどうつき合う？(節度、節制)</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩きスマホをどうするか(節度、節制)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文言・マーク等の明示なし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業文集最後の二行(公正、公平、社会正義)</li> <li>あなたは顔で差別をしますか(相互理解、寛容)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩きスマホをどうするか(節度、節制)</li> </ul>

注:「情報モラルやいじめ防止など現代的な課題に関する内容」を扱っていることが、文言・マーク等によって明示されている主な教材名及び内容項目を記載した。文言・マーク等によって明示されていないからといって、その課題について学習する教材がないということではない。

「別紙2-2」 【(1)内容 1 調査項目の具体的な内容】(中学校 特別の教科 道徳)

f 情報モラルや現代的な課題を扱っている主な教材の教材名及び内容項目

光村	情報モラルに関する内容を扱っている教材	持続可能な社会づくりに関する内容を扱っている教材	いじめ防止に関する内容を扱っている教材	安全教育に関する内容を扱っている教材
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の向こうに(相互理解、寛容)</li> <li>私の話を聞いてね(相互理解、寛容)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の話を聞いてね(相互理解、寛容)</li> <li>「ルーゼージュ」の悲しい最後(自然愛護)</li> <li>異文化の人々と共に生きる(国際理解、国際貢献)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で決めるって? (自主、自律、自由と責任)</li> <li>魚の涙(公正、公平、社会正義)</li> <li>義理での出来事(自主、自律、自由と責任)</li> <li>言葉の向こうに(相互理解、寛容)</li> <li>親友(友情、信頼)</li> <li>やっぱり樹里は(公正、公平、社会正義)</li> <li>橋の上のおおかみ(思いやり、感謝)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>許せないよね(自主、自律、自由と責任)</li> <li>夢中になるのは悪いこと?(節度、節制)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なり記念日(家族愛、家庭生活の充実)</li> <li>むこう岸には(国際理解、国際貢献)</li> <li>僕の仕事場は富士山です(自然愛護)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テニス部の危機(よりよい学校生活、集団生活の充実)</li> <li>カラカラウ(自主、自律、自由と責任)</li> <li>ジコチウ(相互理解、寛容)</li> <li>松葉づえ(友情、信頼)</li> <li>明日、みんなで着よう(公正、公平、社会正義)</li> <li>許せないよね(自主、自律、自由と責任)</li> <li>「桃太郎」の鬼退治(相互理解、寛容)</li> <li>むこう岸には(国際理解、国際貢献)</li> <li>耀しさの光線(向上心、個性の伸長)</li> <li>嫌われるのを恐れる気持ち(向上心、個性の伸長)</li> <li>泣いた赤おに(友情、信頼)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)
第3年年	<ul style="list-style-type: none"> <li>闇の中の炎(遵法精神、公德心)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほくの物語 あなたの物語(公正、公平、社会正義)</li> <li>海とストロー(自然愛護)</li> <li>希望の満足(国際理解、国際貢献)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三年目の「ごめんね」(自主、自律、自由と責任)</li> <li>小さな出来事(公正、公平、社会正義)</li> <li>かばはれ おまえ(向上心、個性の伸長)</li> <li>ソーシャル・ビューー 見えない人と楽しむ美術鑑賞(相互理解、寛容)</li> <li>ほくの物語 あなたの物語(公正、公平、社会正義)</li> <li>恐書の彼方に(相互理解、寛容/よりよく生きる喜び)</li> <li>巣立ちの歌が聞こえる(よりよい学校生活、集団生活の充実)</li> <li>アイツとオシ(相互理解、寛容)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)

注:「情報モラルやいじめ防止など現代的な課題に関する内容」を扱っていることが、文言・マーク等によって明示されている主な教材名及び内容項目を記載した。文言・マーク等によって明示されていないからといって、その課題について学習する教材がないということではない。

日文	情報モラルに関する内容を扱っている教材	持続可能な社会づくりに関する内容を扱っている教材	いじめ防止に関する内容を扱っている教材	安全教育に関する内容を扱っている教材
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>近くにいた友(友情、信頼)</li> <li>使っても大丈夫?(遵法精神、公德心)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文言・マーク等の明示なし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さかなのなみだ(公正、公平、社会正義)</li> <li>近くにいた友(友情、信頼)</li> <li>トマトとメロン(向上心、個性の伸長)</li> <li>私らしさって? (自主、自律、自由と責任)</li> <li>むかひ競走(よりよい学校生活、集団生活の充実)</li> <li>旗(友情、信頼)</li> <li>自分だけが「茶り」になってしまふ……(相互理解、寛容)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾走、自転車ライダー(節度、節制)</li> </ul>
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>五月の風一カナー(自主、自律、自由と責任)</li> <li>五月の風一ミカ(友情、信頼)</li> <li>ネット将棋(自主、自律、自由と責任)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文言・マーク等の明示なし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五月の風一カナー(自主、自律、自由と責任)</li> <li>五月の風一ミカ(友情、信頼)</li> <li>リスベイト アザース(公正、公平、社会正義)</li> <li>ハイタッチがくれたもの(よりよい学校生活、集団生活の充実)</li> <li>ヨシト(公正、公平、社会正義)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)
第3年年	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業文集最後の二行(公正、公平、社会正義)</li> <li>言葉の向こうに(相互理解、寛容)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(文言・マーク等の明示なし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業文集最後の二行(公正、公平、社会正義)</li> <li>運んだよ、健司(友情、信頼)</li> <li>言葉の向こうに(相互理解、寛容)</li> <li>命の大切さ(公正、公平、社会正義)</li> <li>コリラのまねをした彼女を好きになった(友情、信頼)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)

注:「情報モラルやいじめ防止など現代的な課題に関する内容」を扱っていることが、文言・マーク等によって明示されている主な教材名及び内容項目を記載した。文言・マーク等によって明示されていないからといって、その課題について学習する教材がないということではない。

「別紙2-2」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 特別の教科 道徳)

f 情報モラルや現代的な課題を扱っている主な教材の教材名及び内容項目

学研	情報モラルに関する内容を扱っている教材	持続可能な社会づくりに関する内容を扱っている教材	いじめ防止に関する内容を扱っている教材	安全教育に関する内容を扱っている教材
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨコスカネイパーカー(社会参画、公共の精神)</li> <li>・ついでに朝に(節度、節制)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うわさで決めるの？(希望と勇気、克己と強い意志)</li> <li>・日曜日の朝に(節度、節制)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨコスカネイパーカー(社会参画、公共の精神)</li> <li>・ついでに朝に(節度、節制)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旗(思いやり、感謝)</li> <li>・ソムチャイ君の笑顔(公正、公平、社会正義)</li> <li>・サキとタウ(友情、信頼)</li> <li>・ついでに朝に(節度、節制)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は大丈夫～そんな気持ちはないですか(節度、節制)</li> </ul>
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップロード ダウンロード(遵法精神、公德心)</li> <li>・便利なスマホ 使い方次第で(節度、節制)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップロード ダウンロード(遵法精神、公德心)</li> <li>・笛(相互理解、寛容)</li> <li>・どうして？(相互理解、寛容)</li> <li>・卒業文集最後の二行(公正、公平、社会正義)</li> <li>・雪が降ると思いつくことがある(よりよい学校生活、集団生活の充実)</li> <li>・五井先生と太郎(思いやり、感謝)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)

注:「情報モラルやいじめ防止など現代的な課題に関する内容」を扱っていることが、文言・マーク等によって明示されている主な教材名及び内容項目を記載した。文言・マーク等によって明示されていないからといって、その課題について学習する教材がないということではない。

廣あかつき	情報モラルに関する内容を扱っている教材	持続可能な社会づくりに関する内容を扱っている教材	いじめ防止に関する内容を扱っている教材	安全教育に関する内容を扱っている教材
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット将棋(自主、自律、自由と責任)</li> <li>・言葉の向こうに(相互理解、寛容)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨソト(公正、公平、社会正義)</li> <li>・ある日のパッターポックス(公正、公平、社会正義)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでもどこでも・誰とでも(礼儀)</li> <li>・君、想像したことがある？(公正、公平、社会正義)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・君、想像したことがある？(公正、公平、社会正義)</li> <li>・路上に散った正義感(公正、公平、社会正義)</li> <li>・最も悲しむべきことは、病めることも負いことでもなく(国際理解、国際貢献)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピヨ子(自主、自律、自由と責任)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スダ子の苗木(家族愛、家庭生活の充実)</li> <li>・卒業文集最後の二行(公正、公平、社会正義)</li> <li>・ピヨ子(自主、自律、自由と責任)</li> <li>・虹の国―ネルソン・マンデラ―(公正、公平、社会正義)</li> </ul>	(文言・マーク等の明示なし)

注:「情報モラルやいじめ防止など現代的な課題に関する内容」を扱っていることが、文言・マーク等によって明示されている主な教材名及び内容項目を記載した。文言・マーク等によって明示されていないからといって、その課題について学習する教材がないということではない。



「別紙2-2」 【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 特別の教科 道徳)

f 情報モラルや現代的な課題を扱っている主な教材の教材名及び内容項目

日科	情報モラルに関する内容を扱っている教材	持続可能な社会づくりに関する内容を扱っている教材	いじめ防止に関する内容を扱っている教材	安全教育に関する内容を扱っている教材
第1学年	・グループ(公正、公平、社会正義)	(文言・マーク等の明示なし)	・ちゅうたがくれたもの(友情、信頼) ・グループ(公正、公平、社会正義) ・プロレスごっこ(社会参画、公共の精神)	(文言・マーク等の明示なし)
第2学年	・ネット将棋(節度、節制) ・言葉の向こうに(相互理解、寛容)	(文言・マーク等の明示なし)	・十四歳の責任(自主、自律、自由と責任) ・だから歌い続ける(相互理解、寛容)	(文言・マーク等の明示なし)
第3年年	・一通のメッセージから始まる物語(友情、信頼)	・MOTTAINAI(節度、節制)	・いつかは言いたい二度目のごめん(よりよく生きる喜び)	(文言・マーク等の明示なし)

注:「情報モラルやいじめ防止など現代的な課題に関する内容」を扱っていることが、文言・マーク等によって明示されている主な教材名及び内容項目を記載した。文言・マーク等によって明示されていないからといって、その課題について学習する教材がないということではない。

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 特別の教科 道徳)

g 人物の生き方や考え方や学ぶ主な教材に取り上げられている人物名、職業等及び内容項目

学年 人物・内容項目 発行者	第1学年		第2学年		第3学年	
	人物名	内容項目	人物名	内容項目	人物名	内容項目
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳永進(医師)</li> <li>田中重勝(骨髄移植ドナー)</li> <li>広川和男(伝統工芸士)</li> <li>宮原美保(看護師)</li> <li>村上清加(パラ陸上競技選手)</li> <li>橋本聡(持術者)</li> <li>山下彩香(デザイナー)</li> <li>三好和義(写真家)</li> <li>柳家花緑(落語家)</li> <li>星野富弘(作家)</li> <li>佐野藤右衛門(榎木職人)</li> <li>山口富藏(和菓子職人)</li> <li>中川志郎(獣医師)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命の尊さ</li> <li>生命の尊さ</li> <li>郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>勤労</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>相互理解、寛容</li> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>自然愛護</li> <li>我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>自主、自律、自由と責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北村春夫(ホスピス患者)</li> <li>秋野公介(競泳選手)</li> <li>小国士朗(会社代表)</li> <li>杉原千敏(外交官)</li> <li>佐藤真海(職足アスリート)</li> <li>波中正造(代議士)</li> <li>渡平恵美子(文化人類学者)</li> <li>エドム・ブラウン(陸上選手)</li> <li>道下俊一(医学博士)</li> <li>箱野泉(ピアニスト)</li> <li>相沢忠洋(考古学者)</li> <li>柳家金語楼(喜劇俳優)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命の尊さ</li> <li>節度、節制</li> <li>相互理解、寛容</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>社会参加、公共の精神</li> <li>公正、公平、社会正義</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>勤労</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>真理の探究、創造</li> <li>自主、自律、自由と責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒田博樹(野球選手)</li> <li>野口聡一(宇宙飛行士)</li> <li>間瀬吉春(漁師)</li> <li>大石又七(第五福竜丸語り部)</li> <li>三浦雄一郎(プロスキーヤー)</li> <li>小平奈緒(スピードスケーター)</li> <li>李相花(スピードスケーター)</li> <li>安藤百福(実業家)</li> <li>池上彰(ジャーナリスト)</li> <li>石川正一(筋ジストロフィー患者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>自然愛護</li> <li>公正、公平、社会正義</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>友情、信頼</li> <li>真理の探究、創造</li> <li>相互理解、寛容</li> <li>生命の尊さ</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>楢松努(技術者)</li> <li>イ子ロー(野球選手)</li> <li>萩野公介(競泳選手)</li> <li>瀬戸大也(競泳選手)</li> <li>大日方邦子(パラスキーヤー)</li> <li>緒方真子(国際政治学者)</li> <li>小田兼利(發明家)</li> <li>桂米朝(落語家)</li> <li>松本紀生(写真家)</li> <li>瀬立モリカ(パラカヌー選手)</li> <li>夢野田里子(芸術家)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>向上心、個性の伸長</li> <li>友情、信頼</li> <li>相互理解、寛容</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹下江(バレーボール選手)</li> <li>加藤秋雪(ウラン症小児)</li> <li>杉原千敏(外交官)</li> <li>貴戸明子(医師)</li> <li>新津香子(清掃員)</li> <li>榎本清三(俳優)</li> <li>野村萬斎(狂言師)</li> <li>井村和清(医師)</li> <li>後藤朝平(東京市長)</li> <li>野口聡一(宇宙飛行士)</li> <li>長嶋茂雄(野球選手)</li> <li>兵田善男(会社社長)</li> <li>源谷勇太郎(会社社長)</li> <li>齋藤兵三郎(校長)</li> <li>肥沼信次(医師)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>生命の尊さ</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>生命の尊さ</li> <li>勤労</li> <li>向上心、個性の伸長</li> <li>我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>家族愛、家庭生活の充実</li> <li>社会参加、公共の精神</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>社会参加、公共の精神</li> <li>郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>国際理解、国際貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中川志郎(獣医師)</li> <li>一戸冬彦(大学教員)</li> <li>藤井輝明(医学博士)</li> <li>長谷川法世(漫画家)</li> <li>ケビン＝カーター(報道カメラマン)</li> <li>中村雀右衛門(歌舞伎役者)</li> <li>石井肇子(教師)</li> <li>藤井聡太(棋士)</li> <li>松岡史朗(写真家)</li> <li>マサウ＝テレサ(修道女)</li> <li>三澤拓(パラアルペンスキーヤー)</li> <li>大野靖之(シンガーソングライター)</li> <li>星野道夫(写真家)</li> <li>五嶋みどり(ヴァイオリニスト)</li> <li>北垣国道(京都府知事)</li> <li>田辺朝郎(技師)</li> <li>加藤三郎(盆栽師)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主、自律、自由と責任</li> <li>公正、公平、社会正義</li> <li>相互理解、寛容</li> <li>郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>生命の尊さ</li> <li>真理の探究、創造</li> <li>社会参加、公共の精神</li> <li>我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>自然愛護</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>家族愛、家庭生活の充実</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>社会参加、公共の精神</li> <li>郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> </ul>
教出						

\*コラム等で取り上げられている人物については調査の対象としていない。

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 特別の教科 道徳)

g 人物の生き方や考え方が主な教材に取り上げられている人物名、職業及び内容項目

学年 人物・内容項目 発行者	第1学年		第2学年		第3学年	
	人物名	内容項目	人物名	内容項目	人物名	内容項目
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>柳橋佐江子(心臓病患者)</li> <li>貝原益軒(哲学者)</li> <li>北村麻子(ねむた師)</li> <li>さかなつん(魚類学者)</li> <li>ベイジ=エドワーズ(高校生)</li> <li>佐々木清和(自衛官)</li> <li>黒柳徹子(女優)</li> <li>三田真菜(美容師)</li> <li>大岡辰徳(靴磨き職人)</li> <li>吉田レイ子(フォト・ジャーナリスト)</li> <li>椋鳩十(小説家)</li> <li>ジャン=フランソワ=ミレー(画家)</li> <li>テオドール=ルソー(画家)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族愛、家庭生活の充実</li> <li>節度と節制</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>公正、公平、社会正義</li> <li>相互理解、寛容</li> <li>生命の尊さ</li> <li>思いやり、感謝</li> <li>勤労</li> <li>..</li> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>友情、信頼</li> <li>..</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻出清章(消防団員)</li> <li>トプアイス=ブライス(ピンクシヤツデー運動創始者)</li> <li>繁延あづさ(フォトグラフィアー)</li> <li>齋藤陽道(写真家)</li> <li>吉野繁(設計士)</li> <li>近藤光一(登山ガイド)</li> <li>大内正巳(天文学者)</li> <li>孟子(思想家)</li> <li>荀子(思想家)</li> <li>二條美穂(車いすテニス選手)</li> <li>伏野亜紀(かき氷店店主)</li> <li>川上容子(アイヌ民謡歌手)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共の精神</li> <li>公正、公平、社会正義</li> <li>生命の尊さ</li> <li>家族愛、家庭生活の充実</li> <li>真理の探究、創造</li> <li>自然愛護</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>..</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>内容項目の指定なし</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大野将平(柔道家)</li> <li>織田憲一(市民活動家)</li> <li>大谷幸子(管理栄養士)</li> <li>高藤信二(調理師)</li> <li>アントニ二=カワチ(建築家)</li> <li>外屋悦郎(彫刻家)</li> <li>松原仁工(学博士)</li> <li>伊藤亜紗(美学者)</li> <li>星目律子(夜間学級卒業生)</li> <li>石井幹子(照明デザイナー)</li> <li>..</li> <li>西島伊三雄(グラフィックデザイナー)</li> <li>..</li> <li>吉田真美(義肢装具士)</li> <li>養田春草(画家)</li> <li>孔子(思想家)</li> <li>今道友信(哲学者)</li> <li>島屋輝(サッカー用品店員)</li> <li>日々野真理(ピッチレポートター)</li> <li>灰田さち(クラブチーム運営会社職員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>礼儀</li> <li>生命の尊さ</li> <li>勤労</li> <li>..</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>..</li> <li>真理の探究、創造</li> <li>相互理解、寛容</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>..</li> <li>郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>向上心、個性の伸長</li> <li>思いやり、感謝</li> <li>勤労</li> <li>..</li> <li>..</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高橋陽一(漫画家)</li> <li>平住真理子(ヴァイオリニスト)</li> <li>みつほしちか(漫画家)</li> <li>近藤勝重(コラムニスト)</li> <li>さかなつん(魚類学者)</li> <li>相田かつづ(詩人)</li> <li>マザー=テレサ(修道女)</li> <li>野口健(登山家)</li> <li>塚本こなみ(樹木医)</li> <li>新津泰子(清掃員)</li> <li>史峰(筆職人)</li> <li>..</li> <li>重松清(作家)</li> <li>吉沢博子(旅行記者)</li> <li>鈴木憲美(グラフィックデザイナー)</li> <li>崎原真弓(イラスト)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>思いやり、感謝</li> <li>礼儀</li> <li>公正、公平、社会正義</li> <li>向上心、個性の伸長</li> <li>生命の尊さ</li> <li>社会参画、公共の精神</li> <li>自然愛護</li> <li>勤労</li> <li>我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>相互理解、寛容</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>真理の探究、創造</li> <li>郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国枝博至(車いすテニス選手)</li> <li>西田深雪(盲導犬繁殖ボランティア)</li> <li>山本美香(職場特派員)</li> <li>椋鳩十(作家)</li> <li>坂茂(建築家)</li> <li>井上康生(柔道家)</li> <li>西岡京二(農業指導者)</li> <li>猿渡瞳(骨肉腫患者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>生命の尊さ</li> <li>真理の探究、創造</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>社会参画、公共の精神</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>生命の尊さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>だまし(歌手)</li> <li>吉田沙保里(レスリング選手)</li> <li>山折哲保(評論家)</li> <li>杉原千敏(外交官)</li> <li>中村裕(医師)</li> <li>濱口儀兵衛(醬油問屋当主)</li> <li>..</li> <li>向田邦子(脚本家)</li> <li>臼井二美男(義肢装具士)</li> <li>東山魁夷(画家)</li> <li>山中伸弥(IPS細胞研究者)</li> <li>マラ=ユースフサイ(活動家)</li> <li>エドワード=シルバスター=モース(動物学者)</li> <li>オードリー=ヘプバーン(女優)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よりよく生きる喜び</li> <li>希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>社会参画、公共の精神</li> <li>郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>節度、節制</li> <li>勤労</li> <li>感動、畏敬の念</li> <li>真理の探究、創造</li> <li>国際理解、国際貢献</li> <li>遵法精神、公徳心</li> <li>..</li> <li>よりよく生きる喜び</li> </ul>
日文						

※コラム等で取り上げられている人物については調査の対象としていない。

「別紙2-3」【(1)内容 1 調査項目の具体的な内容】(中学校 特別の教科 道徳)

g 人物の生き方や考え方や学から学が主な教材に取り上げられている人物名、職業及び内容項目

学年 人物・内容項目 発行者	第1学年		第2学年		第3学年	
	人物名	内容項目	人物名	内容項目	人物名	内容項目
学研	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村岡花子(翻訳家)</li> <li>・新井淑則(教師)</li> <li>・喜納治五郎(IOC委員)</li> <li>・石川正一(筋ジストロフィー患者)</li> <li>・森繁久彌(俳優)</li> <li>・吉田直哉(演出家)</li> <li>・マルクス＝レーマン(大学教授)</li> <li>・トナリトニキーン(大学教授)</li> <li>・ヒープル＝オンジェイ(狂言師)</li> <li>・シルヴァン旭西キニヤール(経営者)</li> <li>・大島希巳江(落語家)</li> <li>・イチロー(野球選手)</li> <li>・岸本耕作(ワラジ職人)</li> <li>・本橋麻里(カーリング選手)</li> <li>・岸田崇志(アフリカ開発者)</li> <li>・今西乃子(児童文学作家)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> <li>・国際理解、国際貢献</li> <li>・生命の尊さ</li> <li>・相互理解、寛容</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> <li>・公正、公平、社会正義</li> <li>・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・向上心、個性の伸長</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・真理の探究、創造</li> <li>・生命の尊さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高梨沙羅(スキージャニア選手)</li> <li>・八村美瑠(高校生)</li> <li>・長谷部誠(サッカー選手)</li> <li>・山内宏志(サッカー審判員)</li> <li>・宇崎竜重(俳優)</li> <li>・高倉健(俳優)</li> <li>・松井秀喜(野球選手)</li> <li>・伊東純喜(作家)</li> <li>・尾高輝忠(富岡製糸場建設者)</li> <li>・中江良夫(劇作家)</li> <li>・山中伸弥(IPS細胞研究者)</li> <li>・雨宮清(建設機械社会社長)</li> <li>・木村秋則(リンゴ農家)</li> <li>・矢口一夫(義員師)</li> <li>・緒方洪庵(医師)</li> <li>・清水謙吾(戸長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節度、節制</li> <li>・社会参画、公共の精神</li> <li>・相互理解、寛容</li> <li>・向上心、個性の伸長</li> <li>・よりよい学校生活、集団生活の充実</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・友情、信頼</li> <li>・真理の探究、創造</li> <li>・国際理解、国際貢献</li> <li>・自然愛護</li> <li>・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>・生命の尊さ</li> <li>・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊調馨(レスリング選手)</li> <li>・山本邦子(脚本家)</li> <li>・山本敏晴(医師)</li> <li>・渡部成俊(会社社長)</li> <li>・伊能忠敬(学者)</li> <li>・北村麻子(ねぶた師)</li> <li>・植松努(技術者)</li> <li>・田邊優貴子(研究者)</li> <li>・萩野公介(競泳選手)</li> <li>・瀬戸大也(競泳選手)</li> <li>・上杉鷹山(政治家)</li> <li>・藤崎由佳(「ジャパンベンジル」作者)</li> <li>・佐藤友利菜(「ワガタの人々」と作者)</li> <li>・戸冬彦(大学教授)</li> <li>・和田正人(合掌造り家屋住人)</li> <li>・和田利治(屋根葺き技術士)</li> <li>・谷真海(パラ陸上競技選手)</li> <li>・杉原千恵子(義援員)</li> <li>・杉原千恵子(外交官)</li> <li>・佐々木瑠璃(吹奏楽部員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向上心、個性の伸長</li> <li>・節度、節制</li> <li>・国際理解、国際貢献</li> <li>・生命の尊さ</li> <li>・真理の探究、創造</li> <li>・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・公正、公平、社会正義</li> <li>・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・勤労</li> <li>・国際理解、国際貢献</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウナガリ＝マーマイ(環境保護活動家)</li> <li>・神津カンナ(作家)</li> <li>・三浦彌平(和太鼓職人)</li> <li>・安藤百福(実業家)</li> <li>・成田真由美(パラ競泳選手)</li> <li>・井村和清(医師)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然愛護</li> <li>・向上心、個性の伸長</li> <li>・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>・真理の探究、創造</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・家族愛、家庭生活の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椋鳩十(小説家)</li> <li>・アーマント＝カララ＝ガ(野球選手)</li> <li>・ジム＝ジョイス(野球審判員)</li> <li>・宇治運郎(医師)</li> <li>・杉浦睦夫(技術師)</li> <li>・齊藤慶輔(断医師)</li> <li>・石川正一(筋ジストロフィー患者)</li> <li>・三浦知良(サッカー選手)</li> <li>・翁木意美子(「ルポ＝ポルマネージャー」)</li> <li>・大佛次郎(小説家)</li> <li>・吉田直哉(演出家)</li> <li>・ガリアエラ＝アンデルセン(マラソン選手)</li> <li>・王貞治(野球選手)</li> <li>・中山志郎(断医師)</li> <li>・村山聖(棋士)</li> <li>・三浦綾子(小説家)</li> <li>・マザー＝テレサ(修道士)</li> <li>・平野国美(医師)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然愛護</li> <li>・自主、自律、自由と責任</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・相互理解、寛容</li> <li>・生命の尊さ</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・よりよい学校生活、集団生活の充実</li> <li>・自主、自律、自由と責任</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> <li>・感動、畏敬の念</li> <li>・自主、自律、自由と責任</li> <li>・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・社会参画、公共の精神</li> <li>・国際理解、国際貢献</li> <li>・生命の尊さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森口健司(教師)</li> <li>・向田邦子(作家)</li> <li>・鎌田實(医師)</li> <li>・萩生田 千津子(女優)</li> <li>・大谷泰志(編集者)</li> <li>・戸冬彦(大学教授)</li> <li>・小嶋山博(作家)</li> <li>・松井秀喜(野球選手)</li> <li>・斉藤麻衣(中学生)</li> <li>・吉村昭(小説家)</li> <li>・和泉まさ江(作家)</li> <li>・宮澤崇史(自伝軍ローレラー)</li> <li>・ネルソン＝マンデラ(南アフリカ共和国大統領)</li> <li>・イマヌエル＝カント(哲学者)</li> <li>・ジャン＝ジャック＝ルソー(哲学者)</li> <li>・ジョーベン＝ハワー(哲学者)</li> <li>・ニーチェ(哲学者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族愛、家庭生活の充実</li> <li>・節度、節制</li> <li>・生命の尊さ</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・よりよい学校生活、集団生活の充実</li> <li>・公正、公平、社会正義</li> <li>・思いやり、感謝</li> <li>・向上心、個性の伸長</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> <li>・礼儀</li> <li>・勤労</li> <li>・家族愛、家庭生活の充実</li> <li>・公正、公平、社会正義</li> <li>・自主、自律、自由と責任</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・真理の探究、創造</li> <li>・</li> </ul>
廣あかつき						

※コラム等に取り上げられている人物については調査の対象としていない。

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容】(中学校 特別の教科 道徳)

g 人物の生き方や考え方や学ばずから学ばずららるる教材に取り上げられている人物名、職業及び内容項目

学年 人物・内容項目 発行者	第1学年		第2学年		第3学年	
	人物名	内容項目	人物名	内容項目	人物名	内容項目
日科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辰巳芳子(料理研究家)</li> <li>・国枝横吾(車いすテニス選手)</li> <li>・吉田松陰(志士)</li> <li>・中村正人(宇宙科学者)</li> <li>・西尾実(翻訳者)</li> <li>・嘉納治五郎(柔道家)</li> <li>・ジャッキー・ロビンソン(野球選手)</li> <li>・中野英明(住職)</li> <li>・新津春子(清掃員)</li> <li>・陸奥宗光(政治家)</li> <li>・八田與一(水利技術者)</li> <li>・鎌田實(医師)</li> <li>・宇治金太郎(愛鳥家)</li> <li>・幸田文(小説家)</li> <li>・吉田直哉(演劇家)</li> <li>・レーナ＝マリア(コスプレシンガー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節度、節制</li> <li>・向上心、個性の伸長</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・真理の探究、創造</li> <li>・礼儀</li> <li>・相互理解、寛容</li> <li>・公正、公平、社会正義</li> <li>・社会参画、公共の精神</li> <li>・勤労</li> <li>・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>・国際理解 国際貢献</li> <li>・生命の尊さ</li> <li>・自然愛護</li> <li>・感動、尊敬の念</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山極勝三郎(病理学者)</li> <li>・高村光太郎(詩人)</li> <li>・柴田トヨ(詩人)</li> <li>・長嶋茂雄(野球選手)</li> <li>・松井秀憲(野球選手)</li> <li>・アントニー＝リーロ(ポラント孤児)</li> <li>・淀屋常安(商人)</li> <li>・野中兼山(土佐藩重役)</li> <li>・フレッド＝和田勇(美学家)</li> <li>・コンスタンチン＝スコロプイシユスイ(幼児)</li> <li>・広瀬淡窓(儒学者)</li> <li>・樺島智(大学教授)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・真理の探究、創造</li> <li>・思いやり、感謝</li> <li>・友情、信頼</li> <li>・公正、公平、社会正義</li> <li>・勤労</li> <li>・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>・生命の尊さ</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山極勝三郎(病理学者)</li> <li>・高村光太郎(詩人)</li> <li>・柴田トヨ(詩人)</li> <li>・長嶋茂雄(野球選手)</li> <li>・松井秀憲(野球選手)</li> <li>・アントニー＝リーロ(ポラント孤児)</li> <li>・淀屋常安(商人)</li> <li>・野中兼山(土佐藩重役)</li> <li>・フレッド＝和田勇(美学家)</li> <li>・コンスタンチン＝スコロプイシユスイ(幼児)</li> <li>・広瀬淡窓(儒学者)</li> <li>・樺島智(大学教授)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節度、節制</li> <li>・向上心、個性の伸長</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・希望と勇氣、克己と強い意志</li> <li>・真理の探究、創造</li> <li>・遵法精神、公德心</li> <li>・公正、公平、社会正義</li> <li>・家族愛、家庭生活の充実</li> <li>・よりよい学校生活、集団生活の充実</li> <li>・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度</li> <li>・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度</li> <li>・生命の尊さ</li> <li>・自然愛護</li> <li>・よりよく生きる喜び</li> </ul>

※コラム等で取り上げられている人物については調査の対象としていない。

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東書	<p>「白ご飯を指して一萩野公介(節度、節制)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】萩野選手が着用しているウェアの左胸に日章旗がある。(2年P81)</li> <li>「外交官、杉原千畝と六千人の命のビザ」</li> <li>・【コラム】リアニアの杉原千畝記念館内に日章旗が飾られている。(2年P107)</li> </ul> <p>「郷土のことを考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【付録】山口県の道下美里選手のユニフォームの右胸に日章旗がある。(2年P191)</li> <li>・【付録】山口県の道下美里選手が日章旗を広げて持っている。(2年P191)</li> </ul> <p>「ハッチを開けて、知らない世界へ(感動、畏敬の念)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】野口飛行士の宇宙服の左袖に日章旗がある。(3年P69)</li> </ul> <p>「ライバルどうしの友情—スピードスケート 小平奈緒と李相花(友情、信頼)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】小平選手のユニフォームの左胸に日章旗がある。(3年P129)</li> <li>・【写真】小平選手のユニフォームの左胸に日章旗がある。(3年P130)</li> <li>・【本文】レース後に、日の丸を羽織って、観客に応える小平選手(3年P131)</li> <li>・【写真】歓声に応える小平選手のジャージの左胸に日章旗がある。(3年P131)</li> </ul> <p>「栄光の架橋(友情、信頼)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】瀬戸選手のスイミングキャップに日章旗がある。(3年P132)</li> </ul>
教出	<p>「最強の敵 最大の友(友情、信頼)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】瀬戸選手のスイミングキャップに日章旗がある。(1年P69)</li> <li>・【写真】瀬戸選手と萩野選手が着用しているウェアの左胸に日章旗がある。(1年P70)</li> </ul> <p>「ショートパンツ初体験inアメリカ(相互理解、寛容)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】大日方選手のヘルメットに日章旗がある。(1年P106)</li> </ul> <p>「短所を武器とせよ(希望と勇氣、克己と強い意志)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】竹下選手のユニフォームの左胸に日章旗がある。(2年P26)</li> <li>「片足のアルペンスキーヤー・三澤拓(希望と勇氣、克己と強い意志)」</li> <li>・【写真】三澤選手のヘルメットに日章旗がある。(3年P127)</li> </ul>
光村	<p>「夢の力(希望と勇氣、克己と強い意志)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】二條選手のウェアの左胸に日章旗がある。(2年P137)</li> </ul> <p>「礼儀正しさとほ(礼儀)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】大野選手の道着の左胸に日章旗がある。(3年P13)</li> </ul>
日文	<p>「銀メダルから得たもの(希望と勇氣、克己と強い意志)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】吉田選手のウェアの左胸に日章旗がある。(3年P12)</li> </ul> <p>「No Charity, but a Chance!(社会参画、公共の精神)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】大分県で開催された障がい者のスポーツ大会の写真に写る車いす選手のユニフォームの胸に日章旗がある。(3年P69)</li> </ul>

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
<p>学研</p>	<p>「<b>真の国際人</b> 嘉納治五郎(国際理解、国際貢献)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】1964年東京オリンピックの開会式、日本選手団の入場の写真に日章旗がある。(1年P68)</li> <li>「日本サポーター 世界が称賛」</li> <li>・【写真】2014年6月19日(現地時間)に行われたギリシャ戦後の観客席の写真に日章旗がある。(1年P157)</li> <li>「ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦(よりよい学校生活、集団生活の充実)」</li> <li>・【写真】平昌オリンピック表彰式に臨むロコ・ソラーレメンバーのジャージの左胸に日章旗がある。(1年P160)</li> <li>「エルトゥール号の遭難(国際理解、国際貢献)」</li> <li>・【紙芝居】紙芝居の③に日章旗が描かれている。(1年P171)</li> <li>「鳥のように空を飛びたい、高梨沙羅(節度、節制)」</li> <li>・【写真】表彰式に臨む高梨沙羅選手のジャージの左胸に日章旗がある。(2年P13)</li> <li>「蹴り続けたボール(相互理解、寛容)」</li> <li>・【写真】FIFAワールドカップロシア大会アジア最終予選に臨む長谷部誠のユニフォームの左胸とキャプテンマークに日章旗がある。(2年P54)</li> <li>「誰もがスポーツを楽しめる社会に」</li> <li>・【コラム】2018年第4回アジア太平洋ろう者サッカー選手権大会決勝戦でプレーする選手のユニフォームの左胸に日章旗がある。(2年P60)</li> <li>・【写真】平成28年リオデジャネイロオリンピックレスリング女子58Kg級決勝に臨む伊調馨選手のユニフォームの左胸に日章旗がある。(3年P10)</li> <li>・【写真】決勝戦の後、深々と礼をする伊調選手が日章旗を羽織っている。(3年P11)</li> <li>・【写真】4連覇を果たし、金メダルを掲げる伊調馨選手のジャージの左胸に日章旗がある。(3年P12-13)</li> <li>「二人のエース(友情、信頼)」</li> <li>・【写真】平成28年リオデジャネイロオリンピックに臨む瀬戸選手と萩野選手のジャージの左胸に日章旗がある。(3年P92)</li> <li>・【写真】レース直後の瀬戸選手のスイミングキャップに日章旗がある。(3年P93)</li> <li>「スポーツの力(希望と勇気、克己と強い意志)」</li> <li>・【写真】ロンドンパラリンピックに臨む谷真海さんのユニフォームの右胸に日章旗がある。(3年P167)</li> </ul>

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
廣あかつき	<p>「国(我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】試合前に国旗が掲揚されるが、そういうとき、お客さんたちの中には座ったままの人もいることである。(2年P120)</li> </ul>
日科	<p>「オレは最強だ！(向上心、個性の伸長)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】国枝選手のウェアの左胸に日章旗がある。(1年P16)</li> <li>・【写真】国枝選手のジャージの左胸と背景に日章旗がある。(1年P19)</li> </ul> <p>「キスからもらった勇氣(公正、公平、社会正義)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】別れを惜しみながらも、孤児たちは波止場に並んで、滞在中に覚えた「君が代」を歌った。(2年P94)</li> </ul> <p>「日本にオリンピックを呼んだ男(我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】入場行進する日本選手団の旗手が日章旗をもっている。(2年P140)</li> </ul> <p>「サムライ、西洋技術に挑む(真理の探究、創造)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】鹿児島市にある尚古集成館の正門前に日章旗が掲揚されている。(3年P41)</li> </ul> <p>「明かりの下の燭台(よりよい学校生活、集団生活の充実)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】女子バレーボール選手のユニフォームの胸に日章旗がある。(3年P122)</li> </ul>



発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東書	<p>「郷土に伝わる教え(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【コラム】2011年(平成23年)、東日本大震災が起きたあの日、子供たちは一目散に高台へ避難しました。(1年P70)</li> <li>「桜に集う人の思い(自然愛護)」</li> <li>・【本文】2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災。(1年P150)</li> <li>「郷土のことを考える」</li> <li>・【付録】宮城県 羽生結弦 東日本大震災の被災を乗り越えて世界で活躍。(1年P182)</li> <li>「今度私の番だ(社会参画、公共の精神)」</li> <li>・【本文】そのやささの、2011年(平成23年)3月、東日本大震災が起きました。(2年P115)</li> <li>「我、ここに生きる(勤労)」</li> <li>・【本文】翌1960年、チリに起こった大地震による津波のえいきようで、霧多市は八年前に続いて再び大きな被害を受け、死傷者も出た。(2年P140)</li> <li>「田老の生徒が伝えたもの(節度、節制)」</li> <li>・【本文】過去に幾度となく津波の被害を受けてきた。(2年P170)</li> <li>「背番号15が歩んだ道 - 黒田博樹(よりよく生きる喜び)」</li> <li>・【本文】黒田が人知れず被災した住民を見舞いに来たのである。(3年P38)</li> <li>「一冊の漫画雑誌(思いやり、親切)」</li> <li>・【本文】日本にとつて忘れることのできない、東日本大震災が起きました。(3年P158)</li> <li>「社会からの無言の賞賛を感じる感性(社会参画、公共の精神)」</li> <li>・【本文】東北・北陸地方では、たいへんな大雪だというニュースが流れていた。(3年P162)</li> </ul>
教出	<p>「一日前に戻れるとしたら(節度、節制)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】東日本大震災(平成23年3月)(1年P83)</li> <li>・【本文】中国・九州北部豪雨(平成21年7月)(1年P84)</li> <li>「防災について考えよう(節度、節制)」</li> <li>・【コラム】自然災害が起こったら、どう行動する?(1年P86-87)</li> <li>「マンションの椅子～熊本地震の中で見つけたもの～(思いやり、感謝)」</li> <li>・【本文】2016(平成28)年4月14日の夜9時過ぎ、熊本県を中心に大きな地震が起こりました。(1年P181)</li> <li>「伝えるということ(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」</li> <li>・【本文】そう思いながら踊りを奉納した二週間後、東日本大震災と原発事故が起こった。(2年P48)</li> <li>「復旧にとどまらず、復興を～後藤新平～(社会参画、公共の精神)」</li> <li>・【本文】1923(大正12)年9月1日、関東地方で大地震が発生しました。(2年P122)</li> <li>「語りかける目(よりよく生きる喜び)」</li> <li>・【本文】1月23日、私は二回目の出勤をした。任務は長田署管内の救助活動・遺体搜索。(2年P128)(阪神・淡路大震災)</li> <li>「モノづくりのまち、東大阪の会社見学(社会参画、公共の精神)」</li> <li>・【本文】創業まもない1923年9月1日、関東大震災が起こりました。(2年P171)</li> <li>「憧れの消防団(社会参画、公共の精神)」</li> <li>・【本文】そんな憧れに影を落とすできごとが起こった。東日本大震災だった。(3年P140)</li> <li>・【写真】記録的な集中豪雨(3年P142)</li> </ul>

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
光村	<p>「ひまわり(生命の尊さ)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】2011(平成23)年3月11日。東日本大震災が発生。(1年P55)</li> <li>「命が生まれるそのときに(生命の尊さ)」</li> <li>・【本文】私が高校二年のとき、阪神・淡路大震災が起きた。(2年P41)</li> <li>「段ボールベッドへの思い(勤労)」</li> <li>・【本文】東日本大震災のとき、避難所の厳しい環境下で、長時間動かずにいてエコミークラス症候群になったり、低体温症などでなくなったりした方が、大勢いらつやっただんです。(2年P70)</li> <li>「あの日 生まれた命(生命の尊さ)」</li> <li>・【本文】2011(平成23)年3月11日、東日本大震災により、ごくあたりまえの日常を送っていた人たちが、突然命を奪われました。(3年P26)</li> </ul>
日文	<p>「震災を乗り越えて―復活した郷土芸能―(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】2011(平成23)年3月11日の東日本大震災で大津波が押し寄せ、津軽石地区の風景を一変させてしまった。(1年P90)</li> <li>「時を刻んだ手」</li> <li>・【コラム】画家の木下晋さんは、東日本大震災後、自分にできることは何かを考え、いくつかの合掌図を描きました。(1年P131)</li> <li>「ゆうへー生きていてくれてありがとう―(生命の尊さ)」</li> <li>・【本文】1995(平成7)年1月17日 兵庫県を中心とした阪神・淡路大震災が発生した日。(1年P143)</li> <li>「戦争取材する(真理の探究、創造)」</li> <li>・【写真】2011年3月、宮城県気仙沼市で山本さんが撮影した東日本大震災の被害の様子(2年P53)</li> <li>「行動する建築家 坂 茂(社会参画、公共の精神)」</li> <li>・【写真】避難所用の間仕切りシステム(2年P106)</li> <li>「避難所にて(節度、節制)」</li> <li>・【本文】私は今、ボランティアとして、東日本大震災で被災した方たちの生活再建の支援をしている。(2年P154)</li> <li>「つながりを減災に生かすために」</li> <li>・【コラム】「自助と共助」熊本地震で活躍した中学生「日頃の備え」(2年P158・P159)</li> <li>「『稲むらの火』余話(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」</li> <li>・【本文】その日起こった安政南海地震の津波だった。(3年P78)</li> <li>「自分の命を守るために」</li> <li>・【コラム】2011年3月11日に起きた東日本大震災では、多くの人が津波によってなくなりました。(3年P85)</li> <li>「塩むすび(思いやり、親切)」</li> <li>・【写真】ふとんが敷き詰められた避難所の居住スペース(3年P155)</li> <li>「希望(生命の尊さ)」</li> <li>・【写真】2011年12月9日、震災前の町を写した写真を見る人々(3年P191)</li> </ul>

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
学研	<p>「壊れた掲示板(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】東日本大震災発生直後の宮古市(1年P51)</li> <li>「熊本城の復旧は明日への勇気」</li> <li>・【コラム】そんな熊本城は、熊本市のシンボルですが、平成28年(2016年)4月に発生した熊本地震で被災しました。(1年P53)</li> <li>「熊本地震 被災地支援 SNSが威力」</li> <li>・【コラム】東日本大震災で、被災者支援の大きな力になり注目された、会員制交流サイトや短文投稿サイトなどのSNSが、熊本地震でも威力を発揮している。(2年P49)</li> <li>「未来に響け “復興輪太鼓”(よりよい学校生活、集団生活の充実)」</li> <li>・【本文】和太鼓ではなく“輪太鼓”。これは、東日本大震災直後の津波で和太鼓が流された宮城県石巻市立雄勝中学校で、生徒たちが力を合わせて作ったオリジナルの太鼓だ。(2年P136)</li> <li>「群青の絆」</li> <li>・【コラム】平成23年(2011年)3月11日の東日本大震災で、生徒4人が津波の犠牲になりました。(2年P140)</li> <li>「私は大丈夫～そんな気持ちはないですか(節度、節制)」</li> <li>・【本文】もし、夜中に地震が起きたら……(2年P179)</li> <li>「ありがとうの不思議な力(思いやり、感謝)」</li> <li>・【本文】阪神・淡路大震災や東日本大震災などの災害時に、家を失い、家族を失い、悲しみのなかにある人々が救助の人やボランティアの人々に向けて口にした「ありがとう」の言葉に世界中から驚きの声が上がりました。(3年P14)</li> <li>「思いをひとつに 東北絆まつり」</li> <li>・【コラム】平成23年の東日本大震災の約4か月後から、犠牲者の鎮魂と復興を願って、東北6県を代表する6つの祭りが一堂に集まる祭りが行われてきましたが、6年かけて東北6県を一巡したところで終了となりました。(3年P67)</li> <li>「ボランティアで感じた支援の絆」</li> <li>・【コラム】東日本大震災発生数日後の平成23年(2011年)3月18日、岩手県大船渡市第一中学校の生徒が、自分たちの地域の役に立とうと学校新聞「希望」の発行を始めました。(3年P115)</li> <li>「亡き母へのトランペット(よりよく生きる喜び)」</li> <li>・【本文】千年に一度といわれる大地震と巨大地震が東日本を襲ったとき、岩手県陸前高田市に住む高校2年生の瑠璃さんは、学校で所属する吹奏楽部の練習中だった。(3年P180)</li> </ul>

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
<p>廣あかつき</p>	<p>「おにぎり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【コラム】四日深夜からの記録的な大雪で、翌五日夕まで通行止めが続いた八郎潟町真坂の国道七号での出来事―。(1年P99)</li> <li>「語りかける目(生命の尊さ)」</li> <li>・【本文】1月23日、私は二回目の出勤をした。任務は長田署管内の救助活動・遺体捜索。そして、村野工業高校体育館における遺体管理と検視業務の補助であった。(1年P130)</li> <li>「相馬野馬追の季節(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」</li> <li>・【本文】2011(平成23)年3月11日、大きな地震と巨大な津波が東北地方を襲いました。(2年P50)</li> <li>「千年先のふるさとへ(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」</li> <li>・【本文】この自然豊かな町で、海と森からの恵みに支えられてきた人々の暮らしは、2011(平成23)年3月11日の東日本大震災で一変した。(3年P137)</li> <li>「希望新聞」</li> <li>・【コラム】東日本大震災の発生からほぼ一週間後の2011(平成23)年3月18日に、岩手県大船渡市第一中学校の生徒たちが、大きな被害を受けた自分たちの地域に役立ち、被災した人々を励まそうと発行した学校新聞「希望」。(3年P141)</li> <li>「人知を超えたものへの感動と畏敬の念を深める」</li> <li>・【ノート】奇跡の一本松 2011(平成23年)、東北地方太平洋沖地震による津波の直撃を受けた。(3年P24)</li> </ul>
<p>日科</p>	<p>「SNSで広がったボランティア活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【コラム】平成30年7月。台風7号と活発な梅雨前線の影響により、豪雨が西日本を襲い、河川の氾濫、浸水害、土砂崩れなどが発生しました。(1年P103)</li> <li>「大地―八田與一の夢(国際理解、国際貢献)」</li> <li>・【本文】トネル事故の翌年の9月1日、関東大震災が起きた。(1年P158)</li> <li>「レーナ・マリアの挑戦(よりよく生きる喜び)」</li> <li>・【本文】レーナは2011(平成23)年の東日本大震災で傷ついた被災地の人々にもその明るく美しい歌声をとどけた。(1年P189)</li> <li>「防災力を身につけよう」</li> <li>・【コラム】大地震発生！ そのときどうしますか？(2年P21)</li> <li>「キスからもらった勇氣(公正、公平、社会正義)」</li> <li>・【本文】阪神・淡路大震災である。(2年P94)</li> <li>「台湾に遺したものの」</li> <li>・【コラム】それは、東日本大震災が起こった年(2011年)の暮れに台湾のある新聞が「あなたにとって今年一番の幸せは何ですか」というアンケートをとった際に、1位に選ばれた答えが「日本への義援金が増えたこと」と聞いたからです。(2年P146)</li> <li>「明日への光(思いやり、感謝)」</li> <li>・【本文】東日本大震災ではそのような突然の予期せぬ「死」がたくさんあった。(3年P53)</li> </ul>

「別紙2-6」 性差と家族についての扱い【中学校 道徳】

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東書	<p>○性差について扱っている教材  「今度は私の番だ(社会参画、公共の精神)」  ・【本文】リオデジャネイロオリンピックパラリンピックでは、差別や偏見のない社会を実現するため、LGBT(多様な性的指向をもつ人や、心の性と体の性に不一致を感じる人などの総称)を表明した選手が大勢いた。(2年P117)  「郷土のことを考える」  ・【付録】埼玉県 荻野吟子 開業医として治療に従事し、女性の地位向上、衛生知識のふきゅうにも努めた。(2年P190)  「そのこ(国際理解、国際貢献)」  ・【本文】第2条 差別の禁止 子供は国のちがいや、男か女か、どのような言葉を使うか、どんな宗教を信じているか、どんな意見をもっているか、心や体に障がいがあるかないか、お金持ちであるかないか、などによって差別されません。(3年P151)</p> <p>○家族について扱っている教材  「靴(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】あなたが家族の思いを感じたのはどのようなときだろう。(1年P98)  「ごめんね、おばあちゃん(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】日常生活の中で、家族への感謝の気持ちを、どう表していったらよいらう。(2年P47)  「背筋をのばして(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】お父さんから「精いっぱい頑張ってください。」と言われた千里は、父や母にどのような思いをもって、家をはなれたのだろうか。(3年P47)</p>
教出	<p>○性差について扱っている教材  「たすきとポンポン(友情、信頼)」  ・【本文】役割って、性別で決まるんだろうか。あたしは、さらに迷った。(2年P65)  「フットライト(友情、信頼)」  ・【本文】「由紀ちゃん、女の子らしくないって思われるの、気にしているみたい。」(3年P74)</p> <p>○家族について扱っている教材  「ごめんね、おばあちゃん(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族の一員として、自分に行うことができることにはどんなことがあるだろう。(1年P63)  「飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族の幸せとはなんだろう。そのためにあなたができることはなんだろう。(2年P121)  「テーブルの卵焼き(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族の一員として、あなたにできることはなんだろう。(3年P135)</p>

「別紙2-6」 性差と家族についての扱い【中学校 道徳】

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
光村	<p>○性差について扱っている教材  「夢を諦めないー『ねぶた師』北村麻子(希望と勇氣、克己と強い意志)」  ・【本文】長い歴史をたどっても、女性の「ねぶた師」は、それまで一人もいなかった。(1年P24)  「親友(友情、信頼)」  ・【本文】「『女なのに』ってどういう言い方は失礼じゃない？女だとか男だとか関係なく、自分らしく堂々と生きていく美咲さんは、すてきだと思うよ。」(1年P129)  「ぼくの物語 あなたの物語(公正、公平、社会正義)」  ・【本文】「ぼくは男の子だから、君より優れている。」「あたしは、女の子だから、あんたよりましよ。」(3年P88)  「『持続可能な開発目標(SDGs)』について知ろう」  ・【コラム】「SDGs」の17の目標を表すロゴマークの「5 ジェンダー平等を実現しよう」(3年P116)</p> <p>○家族について扱っている教材  「三百六十五×十四回分の「ありがとう」(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族について、考えよう。(1年P16)  「異なり記念日(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】「異なり記念日」を読んで、家族のつながりについて、考えよう。(2年P54)  「家族って？ 家族って？(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族とは、どんなものだろう。(3年P111)</p>
日文	<p>○性差について扱っている教材  「さまざまな性」  ・【コラム】ひとくちに男性、女性といっても、性にはさまざまな在り方があります。(3年P101)</p> <p>○家族について扱っている教材  「家族と支え合うなかで(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族のつながりをより深めるためには、どんなことが大切だろう。(1年P130)  「きいちゃん(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族を大切にすることは、どうしたことだろう。(2年P191)  「一冊のノート(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族みんなの幸せについて、深く考えてみよう。(3年P167)</p>

「別紙2-6」 性差と家族についての扱い【中学校 道徳】

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
学研	<p>○性差について扱っている教材  「ねぶたを夢見て(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」  ・【本文】ねぶた制作は男の仕事とされています。なると言っても分かっていました。(3年P63)</p> <p>○家族について扱っている教材  「黒い弁当(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】家族の一員として、心掛けていきたいことは何だろう。(1年P40)  「美しい母の顔(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】これから久子は、家族の一員としてどのように生きていくだろう。(2年P37)  「一冊のノート(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】父の話を聞いたとき、祖母のことで何も言えなくなっただろう。(3年P90)</p>
廣あかつき	<p>○性差について扱っている教材  「互いの立場や考えを尊重し、謙虚に学び合う」  ・【ノート】男女共同参画社会とは(2年P11)</p> <p>○家族について扱っている教材  「美しい母の顔(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】あなたは家族の愛にどのように応えていきたいと思うか。(1年P90)  「ふたりの子供たちへ(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】親の願いを、あなたはどのように受け止めているか。(1年P157)  「尊い玉子(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】我が子に寄せる母の思いを通して、親の深い愛情に気づき、家族愛について考える。(2年P85)  「1冊のノート(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】ノートにつづらられた祖母の思いを知り、いたたまれなくなる「僕」を通して、家族を敬愛する大切さについて考える。(2年P117)  「スタチの苗木(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】父親の深い思いに激しく震える筆者の心を通して、家族の愛にどう応えればよいかについて考える。(3年P13)  「母と子のロードレース(家族愛、家庭生活の充実)」  ・【本文】夢を追う宮澤さんとそれを支える母の命懸けの日々を通して、家族の関わりを考える。(3年P87)</p>

「別紙2-6」 性差と家族についての扱い 【中学校 道徳】

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
日科	<p>○性差について扱っている教材  「だから歌い続ける(相互理解、寛容)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】私は、常に心と身体がばらばらという、「性同一性障がい」であった。(2年P64)</li> <li>・【本文】支え合いは当たり前」(公正、公平、社会正義)</li> <li>・【本文】性差別をなくすのに、女性性は男性性になれ、とは求めない。(3年P89)</li> </ul> <p>○家族について扱っている教材  「形見(家族愛、家庭生活の充実)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】次のページの「よろこびの歌」を読んで、将来自分が築きたい家庭をイメージしてみてください。(1年P127)</li> <li>・【本文】ペーパーボード(家族愛、家庭生活の充実)</li> <li>・【本文】家族について、感じたことや考えたことを書いてみましょう。(1年P133)</li> <li>・【本文】母が運転を再開した時には、自然と涙が頬を伝っていたのは、どうしてでしょうか。(2年P123)</li> <li>・【本文】一冊のノート(家族愛、家庭生活の充実)</li> <li>・【本文】老いていく祖母を見て、僕はどんな気持ちだったでしょうか。(3年P116)</li> <li>・【本文】迷わず選ぶ(家族愛、家庭生活の充実)</li> <li>・【本文】それでも迷わず「視力をください」と答える父の思いについて考えてみましょう。(3年P120)</li> </ul>



発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東書	<p>「郷土のことを考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【付録】宮城県 羽生結弦 宮城県出身のソチ・平昌五輪フィギュアスケート金メダリスト。(1年P182)</li> <li>・【白ご飯を指して】萩野公介(節度、節制)」</li> <li>・【本文】水泳の萩野公介選手は、2016年(平成28年)リオデジャネイロオリンピック男子400メートル個人メドレーで、日本人史上初の金メダルを、200メートル個人メドレーでは銀メダルを獲得。(2年P80)</li> </ul> <p>「今度は私の番だ(社会参画、公共の精神)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】アテネ、北京と二大会連続でパラリンピックの出場を果たした真海さんは、次のロンドン大会出場を目標に、厳しい練習の日々を送っていました。(2年P114)</li> </ul> <p>「郷土のことを考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【付録】山口県 道下美里 リオパラリンピック女子マラソンで、銀メダルを獲得した。(2年P191)</li> </ul> <p>「ぼくの使命『野村萬斎業』(向上心、個性の伸長)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【コラム】2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開会式・閉会式の総合統括を任せていただきました。(3年P53)</li> </ul> <p>「ライバルどうしの友情―スピードスケート 小平奈緒と李相花(友情、信頼)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】2018年(平成30年)に韓国の平昌で行われた冬季オリンピックで、日本は13個のメダルを獲得しました。(3年P128)</li> </ul> <p>「栄光の架橋」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【コラム】2016年 リオデジャネイロオリンピック(3年P132)</li> </ul> <p>「将来の姿をイメージしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【コラム】義足アスリート村上清加(東京都)「今は、パラリンピック出場を目指し、練習にはげんでいます。」(3年P189)</li> </ul>
教出	<p>「最強の敵、最大の友(友情、信頼)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】リオデジャネイロ五輪第二日の六日夜(日本時間七日前)、競泳男子400メートル個人メドレー決勝で萩野公介(21)が4分6秒05の日本新で優勝し、日本勢では今大会金メダル第一号に輝いた。(1年P68)</li> </ul> <p>「シヨートバントツ初体験inアメリカ(相互理解、寛容)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】『壁なんて破れるーパラリンピック金メダリストの挑戦』(1年P109)</li> </ul> <p>「夢への挑戦『パラカヌー』(希望と勇氣、克己と強い意志)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】瀬立選手の東京パラリンピックへの歩みが始まったのです。(1年P180)</li> </ul> <p>「短所を武器とせよ(希望と勇氣、克己と強い意志)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】全日本女子バレーボールチームは、2012(平成24)年のロンドンオリンピックで、28年ぶりにメダル(銅)を獲得した。(2年P27)</li> </ul> <p>「片足のアルペンスキーヤー・三澤拓(希望と勇氣、克己と強い意志)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】2006(平成18)年、高校三年の時に、イタリアのトリノで行われたパラリンピックに初めて出場しました。(3年P126)</li> </ul>

「別紙2-7」【オリンピック・パラリンピックの扱い】(中学校 道徳)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
光村	<p>「夢の力(希望と勇氣、克己と強い意志)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】私は、2016年リオデジャネイロパラリンピックに、車いすテニス日本代表として、出場しました。(2年P134)</li> <li>「礼儀正しさとは(礼儀)」</li> <li>・【本文】2016(平成28)年のリオデジャネイロオリンピック。(3年P12)</li> <li>「希望の義足(国際理解、国際貢献)」</li> <li>・【写真】2000年シドニーパラリンピック開会式。(3年P125)</li> </ul>
日文	<p>「緑のじゅたん(真理の探究、創造)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】1964(昭和39)年10月10日、東京オリンピックが国立競技場で開会式を迎えた。(1年P177)</li> <li>「自分の弱さと戦え(よりよく生きる喜び)」</li> <li>・【写真】2016年、リオデジャネイロパラリンピックに出場。(2年P9)</li> <li>「初心(希望と勇氣、克己と強い意志)」</li> <li>・【写真】2000年、シドニーオリンピック決勝で、相手選手を得意の内股で破る(2年P122)</li> <li>「銀メダルから得たもの(希望と勇氣、克己と強い意志)」</li> <li>・【本文】2016(平成28)年8月18日、リオデジャネイロオリンピック。(3年P10)</li> <li>「No Charity, but a Chance!(社会参画、公共の精神)」</li> <li>・【本文】あなたはパラリンピックを見たことがあるだろうか。(3年P68)</li> <li>「失った笑顔を取り戻す(勤労)」</li> <li>・【本文】チームからはパラリンピック選手として活躍する人も生まれた。(3年P125)</li> </ul>

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
学研	<p>「真の国際人 嘉納治五郎(国際理解、国際貢献)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【写真】1964年東京オリンピックの開会式、日本選手団の入場。(1年P68)</li> <li>「公平とはなんだろう(公正、公平、社会正義)」</li> <li>・【写真】2016年のパラリンピックで金メダルを獲得したレーム。(1年P117)</li> <li>「諦めなければ夢は叶う」</li> <li>・【コラム】村岡桃佳(チェアスキー) 平成26年(2014年)のソチパラリンピックでは、日本選手団として出場(1年P147)</li> <li>「ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦」</li> <li>・【写真】平昌オリンピック表彰式。(1年P160)</li> <li>「鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅(節度、節制)」</li> <li>・【写真】平成30年(2018年)2月12日韓国平昌オリンピックでスキージャンプ女子ノーマルヒルで銅メダルを獲得。(2年P13)</li> <li>「ジャッジとチャレンジ(向上心、個性の伸長)」</li> <li>・【本文】「第31回オリンピック競技大会(2016/リオデジャネイロ)」といった大きな国際大会も経験させてもらった。(2年P59)</li> <li>「誰もがスポーツを楽しめる社会に」</li> <li>・【コラム】山内宏志さんは、プロフェッショナル・レフェリーとしてオリンピック競技大会や国際大会、Jリーグなどで活躍する審判員です。(2年P60)</li> <li>「三十点の金メダル(向上心、個性の伸長)」</li> <li>・【本文】平成28年(2016年)の、リオデジャネイロオリンピック。(3年P10)</li> <li>「二人のエース(友情、信頼)」</li> <li>・【本文】平成28年(2016年)のリオデジャネイロオリンピック・競泳男子400メートル個人メドレー決勝で、萩野公介選手が金メダルを獲得し、瀬戸大也選手が銅メダルを獲得した。(3年P92)</li> <li>「スポーツの力(希望と勇気、克己と強い意志)」</li> <li>・【写真】国際オリンピック委員会最終プレゼンテーションで、スピーチをする谷真海さん。(3年P164)</li> <li>・【写真】ロンドンパラリンピックでの谷真海さん(3年P167)</li> <li>「『血の通った義足』を作りたい(勤労)」</li> <li>・【本文】これをきっかけに臼井さんはスポーツ義足の製作に携わるようになり、その後、パラリンピアン谷真海選手の義足などを作るようになったのです。(3年P171)</li> </ul>

「別紙2-7」【オリンピック・パラリンピックの扱い】(中学校 道徳)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
廣あかつき	<p>「終わりなき挑戦—成田 真由美—(希望と勇氣、克己と強い意志)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】アトラント大会以降、パラリンピック五大会に出場し、計20個のメダルを獲得した。(1年P147)</li> <li>「明かりの下の燭台(よりよい学校生活、集団生活の充実)」</li> <li>・【本文】あの人の献身的な世話が、チームに金メダルをもたらしたのだからだ。(2年P55)</li> <li>「人間であることの美しさ(感動、畏敬の念)」</li> <li>・【本文】今度のロス・五輪に消し難い名を留める人があれば、恐らくこの人もその一人だろう。(2年P86)</li> <li>「スタチの苗木(家族愛、家庭生活の充実)」</li> <li>・【本文】東京オリンピック(1964年)の翌年、私は小学校に入学した。(3年P10)</li> <li>「母と子のロードレース(家族愛、家庭生活の充実)」</li> <li>・【本文】2008(平成20)年、宮澤さんは、北京オリンピック日本代表の切符をつかんだ。(3年P86)</li> </ul>
日科	<p>「オレは最強だ！(向上心、個性の伸長)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【本文】2004年のアテネ・パラリンピックでのダブルスを手始めに、三度のパラリンピックで金メダルを獲得しました。(1年P17)</li> <li>「嘉納治五郎先生との出会い(相互理解、寛容)」</li> <li>・【本文】いろいろな記事を読む中で一番印象に残ったのが、“幻の東京オリンピック”に関する記事だった。(1年P68)</li> <li>「レーナ・マリアの挑戦(よりよく生きる喜び)」</li> <li>・【本文】1998(平成10)年、長野パラリンピックの開会式で人々の心を揺さぶる歌声が、会場に響き渡った。(1年P186)</li> <li>「よ〜いや、さ〜(郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)」</li> <li>・【本文】2020年に五輪開催が決定している東京では、1964年の『東京五輪音頭』が、都内各所で復活していた。(2年P128)</li> <li>「日本にオリンピックを呼んだ男(我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度)」</li> <li>・【本文】東京でオリンピックをやりたいたんです。(2年P139)</li> <li>「スペシャルオリンピックス」</li> <li>・【コラム】「オリンピック」「パラリンピック」と違い「スペシャルオリンピックス」と複数形なのは～自己表現の場所をつくりだすことを目的としているからです。(2年P152)</li> <li>「廣道純さんからのメッセージ」</li> <li>・【コラム】今の僕の目標は、2020年に開催される東京パラリンピックでメダルを取ることです。(2年P189)</li> <li>「明かりの下の燭台(よりよい学校生活、集団生活の充実)」</li> <li>・【写真】東京オリンピックでの女子バレーの試合(3年P122)</li> </ul>

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(中学校 特別の教科 道徳)

項目	ア 冊数の工夫	イ 教材配列の工夫	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い	カ その他の工夫
発行者 東書	・各学年1冊	・主な教材として、各学年38の教材を掲載している。 ・いしかやいのちについて考える教材をまとめて配列している。	・各教材の最後に、「考えよう」や「自分を見つめよう」として発問例を示している。 ・主な教材とは別に、「ACTION」というページを設け、グループでの話し合いや役割演技等の活動例を示している。 ・巻末に切り取って使える自己の振り返りシート、友達の見聞の記録シート及び心構えシートがある。	・全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしている。 ・ユニバーサルデザインポイントを採用している。 ・軽量の用紙を使用している。 等が示されている。	・裏表紙に、インターネットを通して学習に関連する資料を活用できるように二次元コードがある。	・話し合いの手引きや「道徳の時間」はこんな時間にとり深めたりする活動例を示している。 ・各学年、巻頭に詩を掲載している。
教出	・各学年1冊	・主な教材として、各学年35の教材を掲載している。 ・いしかやいのちについて考える教材をまとめて配列している。	・各教材の最後に、「学びの道しるべ」として発問例を示している。 ・主な教材とは別に、「やってみよう」というページを設け、グループでの話し合いや役割演技等の活動例を示している。 ・巻末に切り取って使える自己の振り返りシートがある。	・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・ユニバーサルデザインポイントを使用している。 等が示されている。	・「まなびリンク」のマークがある教材は、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができている。	・道徳科で学びを深めるために「道徳の時間」というページを設け、話し合いの手順や、自分の考えを深めたりする学習の流れを示している。 ・各学年、巻頭に詩を掲載している。 ・各学年、巻末に「都道府県」のゆかりのある人物と、その言葉」という資料を掲載している。
光村	・各学年1冊	・主な教材として、各学年35の教材を掲載している。 ・教材をシーズン1～3の3つに分けて提示している。 ・各シーズン内はテーマごとにユニットを組んで教材を配列している。	・各教材の最後に、「考えよう」として発問例を示している。 ・主な教材とは別に、「広げよう」というページを設け、ペアやグループでの話し合い等の活動例を示している。 ・巻末に切り取って使える学びの記録シートがある。	・カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全ページ専門家の校閲を行っている。 ・ユニバーサルデザイン書体を採用している。 等が示されている。	・裏表紙に、インターネットを通して学習に関連する資料を活用できるように二次元コードがある。	・道徳の授業を始めよう！や「道徳の学びを振り返ろう」のページを設け、学び方や振り返り方について説明している。 ・各学年、巻頭に詩を掲載している。 ・各学年、巻末に「日本の先駆者たち」という資料を掲載している。また、「あなたへのメッセージ」として有名人の自筆メッセージを掲載している。

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(中学校 特別の教科 道徳)

項目 発行者	ア 冊数の工夫	イ 教材配列の工夫	ウ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い	カ その他の工夫
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年1冊</li> <li>別冊で発問や記入欄を設けた「道徳ノート」を付属</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な教材として、各学年35の教材を掲載している。</li> <li>いしかやよりよい社会について考える教材をまとめて配列している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の最後に、「考えてみよう」「自分＋1」として発問例を示している。</li> <li>主な教材とは別に、「プラットホーム」というページを設け、学習内容を他教科や活動とつなげ、考えや視野を広げるコラムを掲載している。</li> <li>別冊の「道徳ノート」に、各教材から学んだこと、自分の考え及び振り返り等を記入できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パブリックマークのある教材は、ウェブサイトにある資料を活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳科で学ぶことや、道徳科での学び方のページを設け、学習内容や学習の進め方について解説している。</li> <li>各学年、巻頭と巻末に詩を掲載している。</li> </ul>
学研	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年1冊</li> <li>35の教材を掲載している。</li> <li>別冊として、設定したテーマについて複数の教材を配列している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の最後に、「考えよう」として発問例を示している。</li> <li>主な教材とは別に、「深めよう」というページを設け、グループでの話し合いや役割演技等の活動例を示している。</li> <li>「クローズアップ」というページを設け、各内容項目の教材に関連した資料を紹介するコラムを掲載している。</li> <li>巻末に切り取って使える学びの記録シートがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の最後に、「考える」として発問例を示している。</li> <li>主な教材とは別に、「thinking」というページを設け、各内容項目の教材に関連した資料を紹介するコラムを掲載している。</li> <li>別冊の「中学生の道徳ノート」に、学習の記録や振り返りを記入できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目次に「学研教科書サイトの二次元コードがあり、アクセスするとインターネットで写真を見たり、音を聞いたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に扉ページがあり、道徳科の学習内容や学習の進め方について解説している。</li> <li>各学年、巻頭に詩を掲載している。</li> </ul>
廣あかつき	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年1冊</li> <li>別冊で発問や記入欄を設けた「道徳ノート」を付属</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な教材として、各学年35の教材を掲載している。</li> <li>別冊の「道徳ノート」に、各内容項目1つずつコラムがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の最後に、「考える」として発問例を示している。</li> <li>主な教材とは別に、「thinking」というページを設け、各内容項目の教材に関連した資料を紹介するコラムを掲載している。</li> <li>別冊の「中学生の道徳ノート」に、学習の記録や振り返りを記入できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>等が示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットというマークのある教材は、目次の二次元コードからウェブサイトにアクセスすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に扉ページがあり、道徳科の学習内容や学習の進め方について解説している。</li> <li>各学年、巻末に「いじめ防止」、「情報モラル」及び「持続可能な社会の実現」に関する付録の教材を掲載している。</li> </ul>
日科	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年1冊</li> <li>37の教材を掲載している。</li> <li>学習指導要領の内容項目の配列順に教材を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の最後に、「考え、話し合ってみよう、そして、深めよう」として発問例を示している。</li> <li>主な教材とは別に、「もっと知りたい」や「考えてみよう」などのページを設け、各内容項目の教材に関連した資料を紹介するコラムを掲載している。</li> <li>巻末に「私の道徳記録」として振り返り記入できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の最後に、「考え、話し合ってみよう、そして、深めよう」として発問例を示している。</li> <li>主な教材とは別に、「もっと知りたい」や「考えてみよう」などのページを設け、各内容項目の教材に関連した資料を紹介するコラムを掲載している。</li> <li>巻末に「私の道徳記録」として振り返り記入できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明記無し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明記無し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭に扉ページがあり、道徳科の学習内容や学習の進め方について解説している。</li> <li>各学年、巻頭に詩を掲載している。</li> </ul>